

加東市の公共交通について考える市民ワークショップの開催結果について

全4回開催

第1回 平成27年7月26日（日） 9時30分～11時30分

参加者18名

テーマ「 加東市の公共交通 良いところ悪いところ 」

加東市の現状と課題をグループで話し合い、いくつかのグループからは課題に係る改善点が提案された。

- 良いところ
- ・鉄道、バスがあり、特にハイウェイバスは便利である。
 - ・高速道路、国道など道路整備はされている。
- 悪いところ
- ・最寄りの駅、バス停が遠く、本数も少ない。
 - ・高齢者の移動手段が確保されていない。
 - ・福祉タクシー事業の利用状況に地域差がある。



第2回 平成27年8月23日（日） 13時30分～16時

参加者29名（うち市議会から聴講9名）

テーマ「 加東市の公共交通の改善点を考えよう 」

①講義 大阪大学特任教授 土井勉氏 「公共交通の役割・価値について」

公共交通とはどういうものか。

便利な交通を維持するための取り組みなど他地区での事例紹介等。

②講義の内容を踏まえて、問題解決や良くするためのアイデアを出し合った。

- ・わかりやすい時刻表や路線図があればよい。
- ・病院、買い物に利用できるルート。
- ・土日や夜遅い時間の運行。
- ・まちづくりと公共交通を連携させる。



第3回 平成27年9月5日（土）9時30分～11時30分

参加者23名

テーマ「 加東市の公共交通の交通網を考えよう 」

地域ごとに、公共交通で移動するために必要な交通網はどんなものか話し合った。

- ・市内の移動、市外への移動や通勤・通院などの目的にあった移動のためには路線バスだけでなく他の手段や仕組みが必要である。
- ・地域で運営するバス、タクシーの導入。
- ・コミュニティバスの運行は、時間帯によってルートを変更する。
- ・情報を発信し、利用促進を図る。



第4回 平成27年9月25日（金）19時～21時

参加者24名

テーマ「 加東市の交通を支える仕組み～交通コストを考えよう 」

地域ごとに、バスで移動する際の料金について話し合った。各地域の小学校区から目的地までのバス料金はどのくらいが妥当と感じるか。

- ・市内は100～300円までの金額。一律料金を望む。
- ・市外はどのようなルートを作るかが重要。鉄道との接続も大事である。



全体のまとめ

<市内ルート>

- ・市街地中心部、医療機関を循環するようなルートが必要。
- ・通学のために学校区の広い小中学生の利便を考慮した交通機関が必要。
- ・市町村運営有償運送と路線バスの競合区間の取り扱いについては、もっと柔軟に対応する必要がある。また、運転手確保のための対策が必要。
- ・市内の移動は同一料金が望ましい。

<市外ルート>

- ・おもちゃ王国、清水寺など観光地を経由したルートの検討。
- ・通勤通学の需要がある方面へは、乗継がスムーズに出来るよう連携する。

<多様な移動手段の選択>

- ・路線バス、コミュニティバス、福祉タクシー、市町村運営有償運送など地域の実情に応じた移動手段により、全市にネットワークを形成する必要がある。

<その他>

- ・公共交通の利用促進のためには、まちの魅力増進や情報発信などのまちづくりとの連携が必要。